

会議等出席報告書

総合戦略部 経営戦略課

会議等名	第3回甲斐市地域公共交通会議		
開催日	令和5年5月9日（火）午前10時から	場所	新館2階 防災対策室
出席者	会長（瀬戸副市長）、副会長（武藤委員）、委員（池田委員、篠原委員、菊島委員、塩沢委員、穴水委員、茂木委員、中村委員、田中委員、進藤委員、森下委員、野田委員、清水様（本住委員代理）、森委員、箭本委員、谷内委員、渡辺委員、丸山委員） 事務局（経営戦略課：酒井課長、石原経営企画係長、三井、小林）		
<p>1. 開会（司会：酒井経営戦略課長）</p> <p>2. 委嘱状交付 委員会名簿の備考欄に「新」と記載のある方については、組織団体の役職変更に伴い、今年度新たに委員となっていた。本来であれば市長より委嘱状の交付を行うが、市長日程の関係から机の上に委嘱状を置かせていただいた。</p> <p>3. 会長あいさつ（瀬戸副市長） 令和5年2月の会議に続き、今回が3回目の会議となる。本日は、令和4年度の事業報告と5年度の事業計画及び予算案の報告となる。また、5年度に実施予定のAI デマンド交通の実証運行、甲斐市民バス医大線の土曜日曜の実証運行について協議いただく。 本市公共交通の未来を担う会議となるので、忌憚のない御意見を賜りたい。</p> <p>（司会：酒井経営戦略課長） 新年度となり初めての会議開催となるので委員及び事務局職員の紹介を行う。 「甲斐市地域公共交通会議設置条例」第6条第1項により、会長が議長となるため、瀬戸会長に議事進行をお願いする。</p> <p>4. 案件（議長：瀬戸会長）</p> <p>（1）令和4年度事業報告について ・資料1-1 及び 1-2 のとおり説明（事務局：石原経営企画係長）</p> <p>【質疑応答、意見】 特になし</p> <p>（2）令和5年度事業計画及び予算(案)について ・資料2 のとおり説明（事務局：石原経営企画係長）</p> <p>【質疑応答、意見】 特になし</p>			

(3) 令和5年度甲斐市 AI オンデマンド交通実証運行について

・資料 3-1、3-2 のとおり説明(事務局:石原経営企画係長)

【質疑応答、意見】

- 委員 運行地域への周知方法はどのようにするのか。また、帰りの予約はどのように行うのか。
- 事務局 周知方法については、広報誌や自治会連合会の会議に出席し対象地域に紹介する。
また、各自治会を訪問し、停留所の位置等の説明を行う。帰りの予約については、利用の30分前までは予約ができるので事前に予約をしていただくことになる。
- 委員 帰りについても運行地域外から予約ができるのか。
- 事務局 資料 3-2 で示す青色の点からも運行地域に戻れるようになっている。
- 委員 4年度の実証運行に関するアンケートでは、使い勝手が良く、分かりやすいサービスを望む声があったかと思う。特にお年寄りにとって使いやすく、わかりやすいサービスとなるよう、お願いしたい。
- 事務局 昨年の実証実験でもコールセンターを設置したが、停留所の数が多かったこともあり、利用者が戸惑うようなことがあったと認識している。そのような点も改善をしながら、利用者にとって使いやすいものとなるよう努める。
- 委員 実証実験のため利用料金を無料としているが、竜王駅まで無料で行けることになるので利用者数が伸びると思う。事業継続のため有料化も検討していると思うが、その場合の料金設定について、どのように考えているか。
- 事務局 昨年度の実証実験同様多くの方に利用していただきたいため、利用者については実質無料とし、代わりに市が負担している。昨年度の実証実験に関するアンケート調査では、250円程度、次点として500円程度であれば継続して利用したいという意見をいただいている。将来的に実装することになれば、AI オンデマンド交通を持続できる料金設定が必要と考えるため、今回も同じようにアンケート調査を実施していく。
- 委員 免許返納者や高齢者にとっては買い物が大変である。山宮団地では組長が週一回、自転車で買い物に連れて行くような案も出ている。この先も見据えて推進いただきたい。
- 委員 AI オンデマンド交通の運行経費が市民バスよりも下がれば良いと思っているが、AI のシステムも昨年の実証運行のシステムと同じとすればコストは下がるかと思うので加味していただきたい。双葉北部の実証実験の場合は250円から500円程度でお支払いいただけるようなアンケート結果となったが、今回についても市民バスの200円よりも高くなったとしても、AI オンデマンド交通のほうが便利なのでいいだろうという考えと、AI システムを導入することで他の経費が下がることの検証もしていただきたい。
- 委員 各自治会に説明に伺うとのことだが、各自治会では市が AI オンデマンド交通の実証運行を実施していることを知らないのでは、チラシやポスターで周知し皆が利用できるよう PR をお願いしたい。

(4) 甲斐市民バス医大線の土日実証運行について

・資料4のとおり説明(事務局:石原経営企画係長)

【質疑応答、意見】

委員 障がいのある方についてはどのような確認を行うのか。また、運転免許の自主返納者については、証明書を市に提出する必要があるのか等、具体的に教えていただきたい。

事務局 障がいのある方については、各種手帳、運転免許自主返納者については、運転経歴証明書の提示が必要となるため、その都度、乗務員に提示いただく必要がある。

委員 中央病院に掛っている市民も多いが、なぜ医大だけバス路線を市が用意しているのか。

事務局 中央病院については、長塚から民間の路線バスが走っているが、医大については、市内から走る民間路線がないので市がバスを運行している。

委員 平日14便とあるが、土日と同じ14便なのか。

事務局 現行の平日運行の医大線については朝6時30分から出ているバスがあるが、土日にその時間の運行が必要なのか、今後運行事業者と協議する。

(5) その他

事務局 医大線のイオンモール甲府昭和の停留所の位置について、イオンモールの敷地外にあることで利用者への危険もあることから、敷地内のバス停留所に移設して欲しいとの要望があった。このことを受け、イオンモール様とも協議をした結果、移設については可能と返答いただいているが、甲府駅からイオンモールまで運行しているバスも多く、それとの時間調整、また、敷地内に乗り入れることで時間の調整が必要となることから、運行事業者と協議しているような状況である。利用者の利便性を考え、敷地内に移設できるよう引き続き協議を重ねていく。

委員 障がいのある方がバスを半額で利用する場合、従来は手帳の提示が必要であったが、この4月からは、JRの窓口でICカードの購入時に手帳を提示することで、半額でバスに乗れるようになっている。カードはバスの運転手や窓口では買えず、JRの窓口でのみ購入できるが、従来は手帳を提示することに抵抗があった方でも、半額でバスを利用できるので、利用を検討していただきたい。

委員 資料2にて公共交通計画の素案作成と説明があったが、具体的な作成の時期、タイミングを教えてください。

事務局 本会議で承認いただいたので今後プロポーザルで発注し、年度内の納期で納めてもらい、また、来年度についても計画を策定する予算を確保し、2カ年かけて実施するが、2月、3月の時点では年度の報告として会議で諮らせていただく。
また、発注についても地域公共交通会議で発注することになるので、状況についても書面等でお知らせする。

5. 閉会(酒井経営戦略課長)

午前11時20分頃終了